

none

none

none

© EPODOC / EPO

CITED DURING UK
SEARCH/EXAMINATION

PN - JP11139059 A 19990525
 PD - 1999-05-25
 PR - JP19970327002 19971111
 OPD - 1997-11-11
 TI - CORNER CLIP FOR RECTANGULAR SHEET
 IN - TANAKA HIROMITSU
 PA - HOUBUNSHA INSATSU KK
 IC - B42F5/06

© WPI / DERWENT

TI - Corner portion holding fixture for rectangular sheets of paper such as photograph - has reinforcing cover portion and fixed paper portion provided with adhesive layers on sticking surfaces
 PR - JP19970327002 19971111
 PN - JP11139059 A 19990525 DW199931 B42F5/06 011pp
 PA - (HOBU-N) HOUBUNSHA INSATSU KK
 IC - B42F5/06
 AB - JP11139059 NOVELTY - A reinforcing cover portion (4) which bends on one edge to contact integrally with a fixed paper portion (3) is provided smaller than the fixed paper portion. An adhesive layer (2) is provided to the back surfaces of the cover and the fixed portions such that the insertion portion of a rectangular sheet (B) is formed between the cover surfaces for which adhesive layer is not provided.
 - USE - For rectangular sheets e.g. photograph, postcard.
 - ADVANTAGE - The pollution of the corner portions of rectangular sheet by the adhesive is avoided as the rectangular sheet inserts in the fixture between the non-adhesive cover surfaces.
 DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows usage procedure of corner portion fixture for rectangular sheet of paper.
 (2) Adhesive layer; (3) Fixed paper portion; (4) Reinforcing cover portion; (B) Rectangular sheet.
 - (Dwg.3/10)

OPD - 1997-11-11

AN - 1999-366191 [31]

© PAJ / JPO

PN - JP11139059 A 19990525
 PD - 1999-05-25
 AP - JP1

none

none

none

none

none

none

9970327002 19971111

IN - TANAKA HIROMITSU

PA - HOUBUNSHA INSATSU KK

TI - CORNER CLIP FOR RECTANGULAR SHEET

AB - PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a corner clip for a rectangular sheet which can hold a desired rectangular sheet such as a photograph at a desired place easily without staining it and thereafter facilitates work for removing and replacing the sheet.

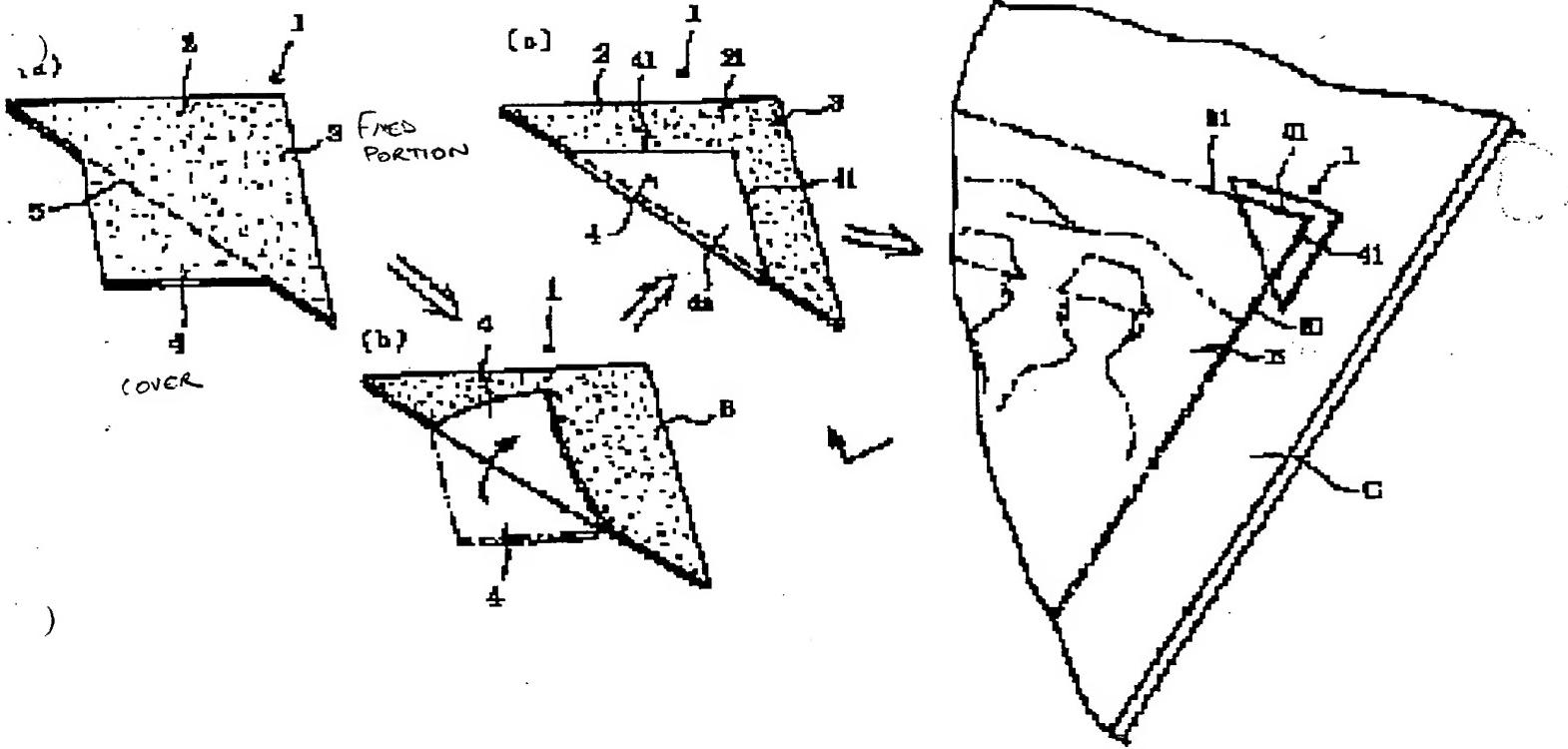
- SOLUTION: A corner fixing paper piece3 for a rectangular sheet and a corner holding paper piece 4 which is attached foldably and integrally to one side of the piece 3 and formed to be smaller than the piece 3 are constituents. A pressure sensitive adhesive layer 2 is formed on the whole backs of the piece 3 and piece 4, and the surface of the piece 4 having no adhesive layer is formed on a corner holding surface. By simple work of folding the piece 4 to the piece 3 side, without staining a rectangular sheet B with the adhesive, the sheet can be held correctly and surely at a desired position.

- B42F5/06

none

none

none



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-139059

(43)公開日 平成11年(1999)5月25日

(51) Int.Cl.⁶

B 42 F 5/06

識別記号

F I

B 42 F 5/06

A

審査請求 未請求 請求項の数8 FD (全11頁)

(21)出願番号

特願平9-327002

(22)出願日

平成9年(1997)11月11日

(71)出願人 591054598

宝文社印刷株式会社

大阪府大阪市北区天満4丁目2番3号

(72)発明者 田中 洋充

大阪市北区天満4丁目2番3号 宝文社印刷株式会社内

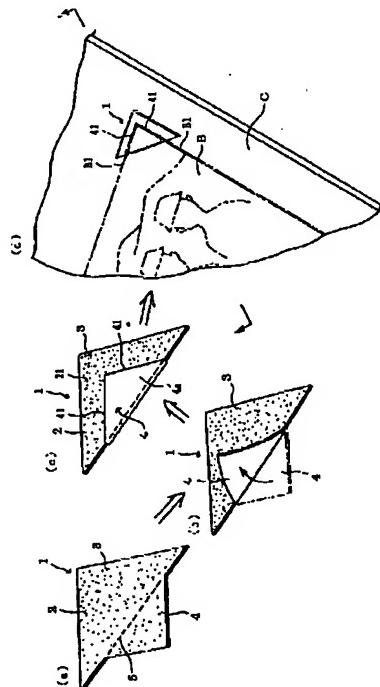
(74)代理人 弁理士 山本 折也

(54)【発明の名称】 矩形状紙葉の角部留具

(57)【要約】

【課題】 所望の写真等の矩形状紙葉を汚染することなく所望場所に容易に支持できるとともに、その後、この矩形状紙葉の取り外し、交換作業も容易に行い得る矩形状紙葉の角部留具を提供する。

【解決手段】 矩形状紙葉の角部固定用紙片3とこの角部固定用紙片3の一辺に折曲げ可能に一体に連設され且つ角部固定用紙片3よりも小形に形成された角部押さえ用紙片4とからなり、これらの角部押さえ紙片3と角部固定用紙片4との裏面全面に粘着剤層2が設けられていると共に粘着剤層が設けられていない角部押さえ用紙片4の表面を角部押さえ面に形成していることを特徴とするので、角部押さえ紙片4を角部固定用紙片3側に折曲げるといった簡単な作業で矩形状紙葉Bを粘着剤によって汚染することなく、所望位置に矩形状紙葉Bを正確且つ確実に支持することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 矩形状紙葉の角部固定用紙片とこの角部固定用紙片の一辺に折曲げ可能に一体に連設され且つ角部固定用紙片よりも小形に形成された角部押さえ用紙片とからなり、これらの角部押さえ紙片と角部固定用紙片との裏面全面に粘着剤層が設けられていると共に粘着剤層が設けられていない角部押さえ用紙片の表面を角部押さえ面に形成していることを特徴とする矩形状紙葉の角部留具。

【請求項2】 上記角部固定用紙片と角部押さえ用紙片との連設部に折曲線を形成していることを特徴とする請求項1に記載の矩形状紙葉の角部留具。

【請求項3】 上記角部固定用紙片は直角二等辺三角形状に形成されている一方、上記角部押さえ用紙片は該角部固定用紙片よりも小形の直角二等辺三角形状に形成されてあり、この角部押さえ用紙片の斜辺縁を上記角部固定用紙片の斜辺縁の中央部に折曲げ可能に連設していることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の矩形状紙葉の角部留具。

【請求項4】 直角二等辺三角形状に形成された上記角部押さえ用紙片の直角に連なる縁辺に、裏面に粘着剤層が設けられているが表面に粘着剤層が設けられていないフランジ部を連設してあり、このフランジ部を角部押さえ用紙片の表面に折り返すと共に角部押さえ用紙片を直角二等辺三角形状の上記角部固定用紙片の粘着剤層に重合接着させた時に粘着剤層が設けられていない角部押さえ用紙片の表面と該表面に対向するフランジ部の表面との間に矩形状紙葉の角部挿入部が形成されるように構成していることを特徴とする請求項1乃至請求項3に記載の矩形状紙葉の角部留具。

【請求項5】 上記角部固定用紙片は横長長方形状に形成されている一方、上記角部押さえ用紙片は該角部固定用紙片と等幅の台形状に形成されており、この台形状の底辺に相当する該角部押さえ用紙片の長辺縁を上記角部固定用紙片の一方の長辺縁中央部に折曲げ可能に連設していることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の矩形状紙葉の角部留具。

【請求項6】 矩形状紙葉の角部固定用紙片とこの角部固定用紙片の一辺に折曲げ可能に一体に連設され且つ角部固定用紙片よりも小形に形成された角部補強カバー用紙片とからなり、これらの角部固定用紙片と角部補強カバー用紙片との裏面全面に粘着剤層が設けられていて、角部カバー用紙片を角部固定用紙片の裏面上に重合接着させることにより矩形状紙葉の角部表面の補強カバー部に形成すると共に角部固定用紙片の両側部を表面側に折り返してその両側部の裏面を被貼着面に対する貼着用粘着剤層とし且つ折り返した両側部の表面と該表面に対向する角部固定用紙片の表面とにより矩形状紙葉の角部挿入袋部を形成するように構成したことを特徴とする矩形状紙葉の角部留具。

【請求項7】 上記角部固定用紙片は横長長方形状に形成されている一方、角部補強カバー用紙片は該角部固定用紙片の長辺縁を斜辺とする直角二等辺三角形状に形成されていてその角部補強カバー用紙片を角部固定用紙片の一方の長辺縁に折り返し可能に連設させていると共に角部固定用紙片にその一方の長辺縁の両端から他方の長辺縁の中央部に向かって傾斜折り目線を設け、この傾斜折り目線から外側の三角形状の両側部裏面の粘着剤層を被貼着面に対する貼着用粘着剤層に形成していると共に三角形状の両側部表面とこの両側部が折り重なる角部固定用紙片の対向表面部とで上記矩形状紙葉の角部挿入袋部を形成するように構成したことを特徴とする請求項6に記載の矩形状紙葉の角部留具。

【請求項8】 上記横長長方形の角部固定用紙片の長さ方向の両端に延長部を設け、上記傾斜折り目線から折曲げた際に該延長部によって上記角部挿入袋部の開口端から突出する矩形状紙葉の角部ガイド面を形成するように構成したことを特徴とする請求項7に記載の矩形状紙葉の角部留具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、写真、絵はがき等の矩形状紙葉の角部を抱持して矩形状紙葉を所定位置に支持する矩形状紙葉の角部留具に関する。

【0002】

【従来の技術】旅行に行った時や記念のために写真を撮影することが日常行われている。そして、この撮影した写真を後日アルバムに貼着して整理、保存したり、或いは、自分の気に入った写真を壁面に貼付けたりしている。

【0003】従来、写真を所望の壁面に貼付けるにあたっては、三角形状に形成された紙片の裏面に粘着剤層を一体に設けた写真留具を用い、写真の四隅部が写真留具の裏面と写真を貼付けたい壁面とによって挟持される状態となるように、この写真留具をその裏面に一体に設けた粘着剤層によって所望の壁面に貼着することにより、所望写真を所望壁面に貼着していた。

【0004】しかしながら、上記従来の写真留具では、その裏面の全面に粘着剤層を一体に設けていることから、所望の写真を写真留具の裏面と写真を貼着したい壁面とによって挟持した際、写真留具の粘着剤によって写真表面が汚染され、写真を壁面から取り外した後に写真の四隅部が汚染されているといった問題や現在貼着している写真を別の写真と入れ換える場合には写真留具ごと取り替えなければならないといった問題があった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、所望の写真等の矩形状紙葉を汚染することなく所望場所に容易に支持できるとともに、その後、この矩形状紙葉の取り外し、交換作業も容易に行い得る矩形状紙葉の角部留具を

提供する。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の矩形状紙葉の角部留具は、矩形状紙葉の角部固定用紙片とこの角部固定用紙片の一辺に折曲げ可能に一体に連設され且つ角部固定用紙片よりも小形に形成された角部押さえ用紙片とからなり、これらの角部押さえ紙片と角部固定用紙片との裏面全面に粘着剤層が設けられていると共に粘着剤層が設けられていない角部押さえ用紙片の表面を角部押さえ面に形成していることを特徴とする。

【0007】請求項2に記載の矩形状紙葉の角部留具は、請求項1に記載の矩形状紙葉の角部留具において、上記角部固定用紙片と角部押さえ用紙片との連設部に折曲線を形成していることを特徴とする。

【0008】請求項3に記載の矩形状紙葉の角部留具は、請求項1又は請求項2に記載の矩形状紙葉の角部留具において、上記角部固定用紙片は直角二等辺三角形状に形成されている一方、上記角部押さえ用紙片は該角部固定用紙片よりも小形の直角二等辺三角形状に形成されており、この角部押さえ用紙片の斜辺縁を上記角部固定用紙片の斜辺縁の中央部に折曲げ可能に連設していることを特徴とする。

【0009】請求項4に記載の矩形状紙葉の角部留具は、請求項1乃至請求項3に記載の矩形状紙葉の角部留具において、直角二等辺三角形状に形成された上記角部押さえ用紙片の直角に連なる縁辺に、裏面に粘着剤層が設けられているが表面に粘着剤層が設けられていないフランジ部を連設してあり、このフランジ部を角部押さえ用紙片の表面に折り返すと共に角部押さえ用紙片を直角二等辺三角形状の上記角部固定用紙片の粘着剤層に重合接着させた時に粘着剤層が設けられていない角部押さえ用紙片の表面と該表面に対向するフランジ部の表面との間に矩形状紙葉の角部挿入部が形成されるように構成していることを特徴とする。

【0010】請求項5に記載の矩形状紙葉の角部留具は、請求項1又は請求項2に記載の矩形状紙葉の角部留具において、上記角部固定用紙片は横長長方形状に形成されている一方、上記角部押さえ用紙片は該角部固定用紙片と等幅の台形状に形成されており、この台形状の底辺に相当する該角部押さえ用紙片の長辺縁を上記角部固定用紙片の一方の長辺縁中央部に折曲げ可能に連設していることを特徴とする。

【0011】請求項6に記載の矩形状紙葉の角部留具は、矩形状紙葉の角部固定用紙片とこの角部固定用紙片の一辺に折曲げ可能に一体に連設され且つ角部固定用紙片よりも小形に形成された角部補強カバー用紙片とからなり、これらの角部固定用紙片と角部補強カバー用紙片との裏面全面に粘着剤層が設けられていて、角部カバー用紙片を角部固定用紙片の裏面上に重合接着させることにより矩形状紙葉の角部表面の補強カバー部に形成する

と共に角部固定用紙片の両側部を表面側に折り返してその両側部の裏面を被貼着面に対する貼着用粘着剤層とし且つ折り返した両側部の表面と該表面に対向する角部固定用紙片の表面とにより矩形状紙葉の角部挿入袋部を形成するように構成したことを特徴とする。

【0012】請求項7に記載の矩形状紙葉の角部留具は、請求項6に記載の矩形状紙葉の角部留具において、上記角部固定用紙片は横長長方形状に形成されている一方、角部補強カバー用紙片は該角部固定用紙片の長辺縁を斜辺とする直角二等辺三角形状に形成されていてその角部補強カバー用紙片を角部固定用紙片の一方の長辺縁に折り返し可能に連設させていると共に角部固定用紙片にその一方の長辺縁の両端から他方の長辺縁の中央部に向かって傾斜折り目線を設け、この傾斜折り目線から外側の三角形状の両側部裏面の粘着剤層を被貼着面に対する貼着用粘着剤層に形成していると共に三角形状の両側部表面とこの両側部が折り重なる角部固定用紙片の対向表面部とで上記矩形状紙葉の角部挿入袋部を形成するように構成したことを特徴とする。

【0013】請求項8に記載の矩形状紙葉の角部留具は、請求項7に記載の矩形状紙葉の角部留具において、上記横長長方形の角部固定用紙片の長さ方向の両端に延長部を設け、上記傾斜折り目線から折曲げた際に該延長部によって上記角部挿入袋部の開口端から突出する矩形状紙葉の角部ガイド面を形成するように構成したことを特徴とする。

【0014】

【作用】上記矩形状紙葉の角部留具は大判形状の離型紙上にその粘着剤層を介して多数枚、縦横に配列して仮接着してあり、使用時には一つの角部留具のうちの一の矩形状紙葉の角部留具を離型紙から剥離する。そして、この剥離した矩形状紙葉の角部留具の角部固定用紙片の一辺に連設した角部押さえ紙片を角部固定用紙片側へ折曲げて、角部押さえ紙片の裏面を角部固定用紙片の裏面全面に層設された粘着剤層上に重合接着させ、粘着剤層が設けられていない角部押さえ紙片の表面を角部固定用紙片の粘着剤層側に露出させた状態にする。

【0015】この際、請求項2に記載の矩形状紙葉の角部留具の如く、角部固定用紙片と角部押さえ紙片との連設部に折曲線を形成している場合には、この折曲線に沿って角部押さえ紙片を角部固定用紙片の裏面側に折曲げる。

【0016】そして、矩形状紙葉を台紙等の被貼着面の所望位置に重ね合わせて矩形状紙葉の四方角部上に矩形状紙葉の角部留具における上記角部押さえ紙片の表面をあてがい、この表面から外側方に突出している角部固定用紙片の粘着剤層を被貼着面に貼着させて、角部押さえ紙片表面と被貼着面とによって矩形状紙葉の角部を挟持する。

【0017】又、請求項3に記載の矩形状紙葉の角部留

具の如く、上記角部固定用紙片を直角二等辺三角形に形成している一方、上記角部押さえ紙片を該角部固定用紙片よりも小形の直角二等辺三角形状に形成しており、この角部押さえ紙片の斜辺縁を上記角部固定用紙片の斜辺縁の中央部に折曲げ可能に連設している場合は、角部押さえ紙片を角部固定用紙片側に重ね合わせて接着させた後、角部押さえ紙片の直角に連なる縁辺を矩形状紙葉の角部の縁辺に合致させた状態にして角部押さえ紙片の粘着剤層が設けられていない直角二等辺三角形状の表面を矩形状紙葉の角部表面に重ね合わせ、この角部押さえ紙片の表面から外側方に突出している角部固定用紙片の粘着剤層を被貼着面に貼着する。

【0018】更に、請求項4に記載の矩形状紙葉の角部留具の如く、直角二等辺三角形状に形成された上記角部押さえ用紙片の直角に連なる縁辺に、裏面に粘着剤層が設けられているが表面に粘着剤層が設けられていない法兰ジ部を連設している場合には、上記法兰ジ部を角部押さえ紙片の表面側へ折り返した後、角部押さえ紙片を角部固定用紙片の裏面側に折り重ねて粘着剤層同士を接着させる。そうすると、角部押さえ紙片の裏面側には両側の法兰ジ部間に粘着剤層が設けられていない角部押さえ紙片の直角二等辺三角形状の表面が露出する。そして、この露出面を矩形状紙葉の角部にあてがい、該露出面の外側の角部固定用紙片の粘着剤層及び法兰ジ部裏面の粘着剤層を被貼着面に貼着する。この際、上記法兰ジ部の表面とこれに対向する角部押さえ紙片の表面との間には矩形状紙葉の角部辺縁部が挿入可能な隙間からなる矩形状紙葉の角部挿入部が形成され、この角部挿入部によって矩形状紙葉の角部辺縁部が抱持される。

【0019】一方、請求項6に記載の矩形状紙葉の角部留具の如く、矩形状紙葉の角部固定用紙片とこの角部固定用紙片の一辺に折曲げ可能に一体に連設され且つ角部固定用紙片よりも小形に形成された角部補強カバー用紙片とからなり、これらの角部固定用紙片と角部補強カバー用紙片との裏面全面に粘着剤層が設けられている場合には、角部カバー用紙片を角部固定用紙片の裏面上に折り返して、角部固定用紙片の裏面に互いの粘着剤層で重合接着させることにより、矩形状紙葉の角部表面の補強カバー部に形成するとともに角部固定用紙片の両側部を表面側に折り返してその両側部の裏面を被貼着面に対する貼着用粘着剤層とし、この粘着剤層によって矩形状紙葉の角部留具を被貼着面上に貼着する。すると、折り返した両側部の表面と該表面に對向する角部固定用紙片の表面とにより矩形状紙葉の角部挿入袋部が形成され、この角部挿入袋部によって矩形状紙葉の角部を抱持する。

【0020】又、請求項7に記載の矩形状紙葉の角部留具の如く、角部固定用紙片が横長長方形形状に形成されている一方、角部補強カバー用紙片が該角部固定用紙片の長辺縁を斜辺とする直角二等辺三角形状に形成されていてその角部補強カバー用紙片を角部固定用紙片の一方の

長辺縁に折り返し可能に連設させていると共に角部固定用紙片にその一方の長辺縁の両端から他方の長辺縁の中央部に向かって傾斜折り目線を設けている場合には、直角二等辺三角形状の角部補強カバー用紙片を角部固定用紙片の裏面側に折り重ねて、角部補強カバー用紙片を角部固定用紙片の裏面に互いの粘着剤層で重合接着させることによって粘着剤層が設けられていない角部補強カバー用紙片の表面を露出させた補強カバー部とともに、上記傾斜折り目線から外側の三角形状の角部固定用紙片を裏面側に折曲げて、この両側部裏面の粘着剤層を被貼着面に対する貼着用粘着剤層とする。そして、この貼着用粘着剤層によって矩形状紙葉の角部留具を被貼着面上に貼着させて、粘着剤層が設けられていない角部固定用紙片の三角形状両側部表面とこの両側部が折り重なる角部固定用紙片の対向表面部とによって矩形状紙葉の角部挿入袋部を形成し、この角部挿入袋部によって矩形状紙葉の角部を抱持する。

【0021】

【発明の実施の形態】本発明の矩形状紙葉の角部留具の一例を図面を参照しつつ説明する。本発明の矩形状紙葉の角部留具1は、図1に示したように、離型紙A上に粘着剤層2を介してフィルムが積層一体化されてなる積層シートに、粘着剤層2にまで達するが離型紙Aには達しないスリットをフィルム側から所定パターンで形成することによって、離型紙A上に縦横に配列した状態で仮接着されてなり、離型紙Aから剥離することによって、所定形状を有し且つ裏面に粘着剤層2が積層一体化されてなる矩形状紙葉の角部留具1を得ることができる。

【0022】次に、本発明の矩形状紙葉の角部留具1の一例を詳述する。図2に示したように、矩形状紙葉の角部留具1は直角二等辺三角形状の角部固定用紙片3とこの角部固定用紙片3よりも小形の直角二等辺三角形状の角部押さえ紙片4とからなり、この角部押さえ紙片4は上記角部固定用紙片3の斜辺縁の中央部に、その斜辺縁を角部固定用紙片3の斜辺縁と共に、角部固定用紙片3に対して折曲げ可能に連設されている。なお、上記角部押さえ紙片4と角部固定用紙片3との連設部分には、角部押さえ紙片4を角部固定用紙片3側に折曲げる際の目安となる折曲線5が形成されており、この折曲線5に沿って角部押さえ紙片4を角部固定用紙片3側に円滑且つ確実に折曲げができる。そして、上記角部固定用紙片3及び角部押さえ紙片4の裏面全面には粘着剤層2が積層一体化されている。

【0023】ここで、上記矩形状紙葉の角部留具1によって被貼着面に支持される矩形状紙葉について説明する。本発明で適用される矩形状紙葉は、写真、絵画、版画等の矩形状のものが挙げられ、その角部は必ずしも直角に直交して形成されている必要はなく、突円弧状に形成されていてもよい。

【0024】次に、上記矩形状紙葉の角部留具1の使用

方法を説明する。先ず、図1に示したように、大判形状の離型紙A上にその粘着剤層を介して多数枚、縦横に配設されて接着されている矩形状紙葉の角部留具1のうちの一矩形状紙葉の角部留具1を剥離紙Aから剥離する。

【0025】図3(b)に示したように、剥離した矩形状紙葉の角部留具1の角部押さえ紙片4を上記折曲線5に沿って角部固定用紙片3の裏面側に折曲げ、角部固定用紙片3裏面の粘着剤層2上に角部押さえ紙片4裏面全面を重ね合わせて接着させ、粘着剤層2が設けられていない角部押さえ紙片の表面4aを角部固定用紙片3の粘着剤層2側に露出させた状態とする(図3(c)参照)。

【0026】しかる後、矩形状紙葉Bを台紙等の被貼着面Cの所望位置に重ね合わせ、矩形状紙葉Bの四方角部上に矩形状紙葉の角部留具1における上記角部押さえ紙片4の表面4aをあてがう。この際、角部押さえ紙片4の直角に連なる縁辺41、41を矩形状紙葉Bの角部の辺縁B1、B1に合致させた状態とする。そして、角部押さえ紙片4の表面4aから外側方に突出している角部固定用紙片3のL字状粘着剤層21を被貼着面Bに貼着させる。

【0027】すると、上記矩形状紙葉Bの角部は、角部押さえ紙片4の表面4aによって形成された粘着剤層2が層設されていない角部押さえ面4aと被貼着面C表面とによって挟持されて、矩形状紙葉Bは粘着剤層2によって汚染されることなく被貼着面Cの所望位置に支持される。更に、上記の如く、矩形状紙葉Bは、矩形状紙葉の角部における直角に連なる辺縁B1、B1を角部押さえ紙片4の直角に連なる辺縁41、41に合致させて、その角部を角部押さえ面4aと被貼着面Cとによって挟持、支持されているので、矩形状紙葉Bの角部は角部押さえ面4aと被貼着面Cとによって形成される袋部内において妄動することなく安定した状態で所定位置に支持される(図4参照)。

【0028】上記矩形状紙葉の角部留具1では、その角部押さえ紙片4の端縁にフランジ部を突設していないものを説明したが、図5に示したように、矩形状紙葉の角部留具1の角部押さえ紙片4の直角に連なる縁辺に細幅のフランジ部6、6を連設したものであってもよい。このフランジ部6、6の裏面全面には粘着剤層2が層設されている一方、その表面には粘着剤層2は層設されておらず、更に、このフランジ部6と角部押さえ紙片4との連設部分にはフランジ部6を角部押さえ紙片4の表面側に折曲げる際の目安となる折曲線5、5が形成されている。

【0029】そして、このフランジ部6の両端部は、このフランジ部6を角部押さえ紙片4の表面側に折曲げた際にフランジ部6、6同士が重なり合わないように、斜め方向に切り取られている。なお、図1に示した矩形状紙葉の角部留具と同様の構成についてはその説明を省略した。

【0030】次に、図5に示した矩形状紙葉の角部留具1の使用方法を説明する。先ず、図5(a)に示したように、矩形状紙葉の角部留具1の角部押さえ紙片4の縁辺に連設されたフランジ部6、6を折曲線5、5に沿って角部押さえ紙片4の表面側に折曲げた(図5(b)参照)後、角部押さえ紙片4を上記折曲線5に沿って角部固定用紙片3の裏面側に折曲げ、角部固定用紙片3裏面の粘着剤層2上に角部押さえ紙片4裏面全面を重ね合わせて接着させ、粘着剤層2が設けられていない角部押さえ紙片の表面4aを角部固定用紙片3の粘着剤層2側に露出させた状態とする(図5(c)(d)参照)。

【0031】かかる後、矩形状紙葉Bを台紙等の被貼着面Cの所望位置に重ね合わせ、矩形状紙葉Bの四方角部上に夫々矩形状紙葉の角部留具1における上記角部固定用紙片4の表面4aをあてがう。この際、角部押さえ紙片4の表面側において、粘着剤層の層設されていないフランジ部6表面とこれに対向する粘着剤の層設されていない角部押さえ紙片4の表面4aとの間には、矩形状紙葉Bの角部辺縁部が挿入可能な隙間を有する角部挿入部D、Dが形成されており、この角部挿入部Dに矩形状紙葉Bの四方角部辺縁部を挿入して該角部辺縁端面を角部挿入部D、Dの上記折曲線5、5の折曲内面に突き合わせた状態とする。そして、角部押さえ紙片4の表面4aから外側方に突出している角部固定用紙片3のL字状粘着剤層21とフランジ部6、6の裏面の粘着剤層2を被貼着面Cに貼着させる。

【0032】上記の様にして矩形状紙葉Bの四方角部を矩形状紙葉の角部留具1で被貼着面Cに支持した状態では、矩形状紙葉Bの角部は、粘着剤層の層設されていない角部押さえ紙片4の表面4a及びフランジ部6の表面6a並びに被貼着面Cによって挟持、支持されているので、矩形状紙葉Bは粘着剤によって汚染されることはない。

【0033】しかも、矩形状紙葉Bは、その辺縁が角部押さえ紙片4とフランジ部6との連設部分の内面に当接、受止された状態で角部挿入部D、Dに抱持されつつ、角部押さえ紙片4表面と被貼着面Cとによって、その全体を挟持、支持されている。従って、たとえ矩形状紙葉Bが妄動したとしても、矩形状紙葉の角部辺縁は、角部押さえ紙片3とフランジ部6との連設部分(折曲線)によって受止され、矩形状紙葉Bの角部が、角部固定用紙片3裏面の粘着剤層2による被貼着面Cとの粘着部分に進入することはなく、矩形状紙葉Bが粘着剤2によって汚染されることはない。なお、図5の矩形状紙葉の角部留具1の使用方法において、図1に示した矩形状紙葉の角部留具と同様の部分についてはその説明を省略した。

【0034】更に、別の矩形状紙葉の角部留具1の一例を説明する。上記では、角部固定用紙片3及び角部押さえ紙片4を直角二等辺三角形状としたものを説明したが、図6に示したように、角部固定用紙片3を横長長方

形状に形成するとともに、この角部固定用紙片3の一の長辺縁の中央部に上記角部固定用紙片3と等幅の高さを有する台形状の角部押さえ紙片4を連設してなり、これら角部固定用紙片3及び角部押さえ紙片4の裏面全面に粘着剤層2が積層一体化されてなるものであってもよい。なお、角部固定用紙片3と角部押さえ紙片4との連設部分には折曲線5が形成されている。

【0035】次に、上記矩形状紙葉の角部留具1の使用方法を説明する。この矩形状紙葉の角部留具1の場合も、矩形状紙葉の角部留具1の角部押さえ紙片4を上記折曲線5に沿って角部固定用紙片3の裏面側に折曲げ、角部押さえ紙片4の外側辺縁4bを角部固定用紙片3の他の長辺縁3aに合致させて、角部固定用紙片3裏面の粘着剤層2上に角部押さえ紙片4裏面全面を重ね合わせて接着させ、粘着剤層2が設けられていない角部押さえ紙片の表面4aを角部固定用紙片3の粘着剤層2側に露出させた状態とする。

【0036】しかる後、矩形状紙葉Bを台紙等の被貼着面Cの所望位置に重ね合わせ、矩形状紙葉Bの四方角部上に矩形状紙葉の角部留具1における上記角部押さえ紙片4の表面4aをあてがう。この際、角部押さえ紙片4の傾斜縁辺42、42を矩形状紙葉Bの角部の辺縁B1、B1に合致させるとともに、矩形状紙葉Bの角部先端部B2を角部固定用紙片3の他の長辺縁の中央部から突出させた状態とする。そして、角部押さえ紙片4の表面4aから外側方に突出している角部固定用紙片3の粘着剤層を被貼着面Bに貼着させる。

【0037】すると、上記矩形状紙葉Bの角部は、角部押さえ紙片4の表面4aによって形成された粘着剤層2が層設されていない角部押さえ面4aと被貼着面C表面とによって挟持されて、矩形状紙葉Bは粘着剤層2によって汚染されることなく被貼着面Cの所望位置に支持される。更に、上記の如く、矩形状紙葉Bは、矩形状紙葉の角部における直角に連なる辺縁B1、B1を角部押さえ紙片4の傾斜辺縁42、42に合致させて、その角部を角部押さえ面4aと被貼着面Cとによって挟持、支持されているので、矩形状紙葉Bの角部は角部押さえ面4aと被貼着面Cとによって形成される隙間内において妄動することなく安定した状態で所定位置に支持される（図6（b）参照）。なお、上記使用方法において図1に示した矩形状紙葉の角部留具と同様な部分はその説明を省略した。

【0038】上記矩形状紙葉の角部留具1では、矩形状紙葉の角部留具1を角部固定用紙片3と角部押さえ紙片4とからなる場合を説明したが、これに限定されるものではなく、図7に示すような矩形状紙葉の角部留具1であってもよい。

【0039】即ち、図7に示した矩形状紙葉の角部留具1は、横長長方形状の角部固定用紙片3とこの角部固定用紙片3の一の長辺縁に折曲げ可能に連設され且つ該長辺縁の全長を斜辺とした直角二等辺三角形状の角部補強

カバー用紙片7とからなる。この角部補強カバー用紙片7は、上記連設部分に沿って角部固定用紙片3側に折曲げて角部固定用紙片3裏面に重ね合わせると、該角部補強カバー用紙片7の先端直角端が角部固定用紙片3の他の長辺縁の中央に合致するよう形成されている。更に、上記角部固定用紙片3の一の長辺縁の両端から他の長辺縁の中央に向かって2本の傾斜折り目線8、8が形成されているとともに、角部固定用紙片3と角部補強カバー用紙片7との連設部分にも折曲線5が形成されている。そして、これら角部固定用紙片3と角部補強カバー用紙片7の裏面全面には粘着剤層2が層設されている。

【0040】次に、上記矩形状紙葉の角部留具1の使用方法を説明する。矩形状紙葉の角部留具1の角部補強カバー用紙片7を上記折曲線5に沿って角部固定用紙片3裏面側に折り返し、角部補強カバー用紙片7の先端直角端が角部固定用紙片3の他の長辺縁の中央に合致し且つ角部補強カバー用紙片7の直角に連なる辺縁が傾斜折り目線8、8に沿った状態で、角部補強カバー用紙片7の裏面全面を角部固定用紙片3上に重ね合わせて接着し、角部固定用紙片3裏面の粘着剤層2の一部を角部固定用紙片7によって隠蔽し、粘着剤層の層設されていない角部補強カバー用紙片7の表面7aを露出させて補強カバー部9を形成する。

【0041】更に、上記角部固定用紙片3のうち角部補強カバー用紙片7が重ね合わされて接着されていない2本の傾斜折り目線8、8より外側の直角三角形状の両側部31、31を、該傾斜折り目線8、8に沿って角部固定用紙片3の表面側に折り返す（図7（a）参照）。すると、上記折り返した角部固定用紙片3の両側部31、31は、角部固定用紙片3の傾斜折り目線8、8より内側部表面と完全に重ね合わされた状態となり、これら粘着剤層の層設されていない両側部31、31表面とこれに対向する粘着剤層の層設されていない角部固定用紙片3表面とによって角部挿入袋部Eが形成される。

【0042】そして、上記の如くして形成された角部挿入袋部E内に矩形状紙葉Bの四方角部を挿入する。この際、矩形状紙葉Bの角部における直角に連なる辺縁B1、B1と上記傾斜折れ目線8、8とが合致するように調節される。

【0043】しかる後、上記角部固定用紙片3の両側部31、31の裏面に層設された粘着剤層2によって矩形状紙葉の角部留具1を被貼着面Cに貼着させ、上記角部挿入袋部Eによって矩形状紙葉Bの四方角部を安定的に抱持し、矩形状紙葉Bを被貼着面Cの所定位置に安定した状態で位置させる（図7（b）参照）。

【0044】しかも、矩形状紙葉Bの角部は、その辺縁B1、B1と傾斜折れ目線8、8とが合致した状態で、角部挿入袋部Eに挿入、抱持されているので、矩形状紙葉Bの角部は角部挿入袋部E内において妄動することがなく、安定した状態で矩形状紙葉Bはその角部を支持され

る。

【0045】上記矩形状紙葉の角部留具1において、角部補強カバー用紙片7を直角二等辺三角形状とした場合を説明したが、角部補強カバー用紙片7の形状は特に限定されず、例えば、図8に示したような、角部固定用紙片3の長辺縁の全長を直径とした半円形状のものであってもよい。なお、かかる場合においても、角部補強カバー用紙片7裏面全面には接着剤層2が層設されている。

【0046】このように角部補強カバー用紙片7の形状を半円形状とした場合、上記図7に示した矩形状紙葉の角部留具1と同様にして、角部補強カバー用紙片7を角部固定用紙片3裏面側に折り返すとともに、角部固定用紙片3の両側部31、31を角部固定用紙片3の表面側に折り返すと、図8(b)に示したように、角部補強カバー用紙片7が角部固定用紙片3のうち傾斜折り目線8、8の内側部で形成された直角二等辺三角形部分からその一部をはみ出した状態で角部固定用紙片3裏面に重ね合わせて接着される。

【0047】そして、この上記角部固定用紙片3の上記直角二等辺三角形部分からはみ出した角部補強カバー用紙片7の三日月状部分71、71の裏面全面には接着剤層2が層設されていることから、矩形状紙葉の角部留具1を被貼着面C上に貼着する際、角部補強カバー用紙片7の三日月状部分71、71裏面の接着剤層2が、角部固定用紙片3の両側部31、31裏面の接着剤層2を補助し、矩形状紙葉の角部留具1は三日月状部分71、71及び両側部31、31裏面の両接着剤層2によって被貼着面C上に確実に貼着される。なお、図7に示した矩形状紙葉の角部留具と同様の部分についてはその説明を省略した。

【0048】又、上記図7に示した矩形状紙葉の角部留具1では、角部補強カバー用紙片7を角部固定用紙片3の一の長辺縁の全長を斜辺とした直角二等辺三角形状とし、角部補強カバー用紙片7の斜辺両端縁を角部固定用紙片3の長辺縁の両端縁に合致させた場合を説明したが、図9(a)に示したように、角部固定用紙片3の長さ方向の両端部に延長部32、32を延設したものであってもよく、この延長部32、32裏面全面にも接着剤層2、2が層設されている。なお、その他の構成については図7に示した矩形状紙葉の角部留具1と同様であるのでその説明を省略する。

【0049】このように、角部固定用紙片3の両端部に延長部32、32を延設しておけば、この矩形状紙葉の角部留具1を使用するにあたり、図7に示した矩形状紙葉の角部留具1と同様に、角部固定用紙片3の上記延長部32、32を含む両側部31、31を角部固定用紙片3の表面側に折り返すと、上記延長部32、32が、上記両側部31、31表面とこれに対向する角部固定用紙片3表面とで形成される角部挿入袋部Eの開口端から突出する。

【0050】そして、この状態で矩形状紙葉の角部留具1は、上記矩形状紙葉の角部留具1と同様に、延長部3

2、32を含む両側部31、31の裏面の接着剤層2によって被貼着面C上に貼着される。この矩形状紙葉の角部留具1の被貼着面Cへの貼着状態では、角部固定用紙片3の延長部32、32が上記角部挿入袋部Eの開口端から突出している(図9(b)参照)。

【0051】従って、該延長部32、32は、矩形状紙葉Bの角部を角部挿入袋部Eに挿入する際の該矩形状紙葉Bの角部のガイド面10、10を形成し、矩形状紙葉Bの角部を角部挿入袋部Eに挿入する際、矩形状紙葉Bの角部をガイド面10上を摺接させながら角部挿入袋部Eに挿入することによって、矩形状紙葉Bの角部を角部挿入袋部Eに円滑且つ確実に挿入することができる(図10参照)。

【0052】

【発明の効果】本発明の矩形状紙葉の角部留具は、矩形状紙葉の角部固定用紙片とこの角部固定用紙片の一辺に折曲げ可能に一体に連設され且つ角部固定用紙片よりも小形に形成された角部押さえ用紙片とからなり、これらの角部押さえ紙片と角部固定用紙片との裏面全面に接着剤層が設けられていると共に接着剤層が設けられていない角部押さえ用紙片の表面を角部押さえ面に形成していることを特徴とするので、角部押さえ紙片を角部固定用紙片の裏面側に折り返して両者を重ね合わせて接着させ、接着剤の層設されていない角部押さえ紙片の表面を角部固定用紙片の接着剤層側に露出させた上で、矩形状紙葉の四方角部上に矩形状紙葉の角部留具における上記角部固定用紙片の表面をあてがい、そして、角部押さえ紙片の表面から外側方に突出している角部固定用紙片の接着剤層を被貼着面上に貼着させるといった簡単な作業で正確且つ確実に矩形状紙葉の角部を支持することができ、矩形状紙葉を被貼着面の所定位置に正確且つ確実に位置させることができる。

【0053】しかも、矩形状紙葉の角部は、接着剤層の層設されていない被貼着面と角部押さえ紙片の表面とによって挟持、支持されており、矩形状紙葉の角部が接着剤によって汚染されるといったことがない。

【0054】更に、現在被貼着面に支持されている矩形状紙葉を別の矩形状紙葉に入れ換える際にあっても、上記の如く、矩形状紙葉の角部は接着剤によって粘着支持されているのではなく、接着剤層の層設されていない角部押さえ紙片表面と被貼着面との挟持力によって支持されていることから、矩形状紙葉の角部を角部押さえ紙片表面と被貼着面との間から簡単に取り外すことができ、しかし後、直ちに別の矩形状紙葉を角部押さえ紙片表面と被貼着面との間に挿入させて、被貼着面に新たな矩形状紙葉を位置させることができる。

【0055】又、請求項2に記載の矩形状紙葉の角部留具の如く、上記角部固定用紙片と角部押さえ用紙片との連設部に折曲線を形成しておけば、該折曲線が、角部押さえ紙片を角部固定用紙片側に折り返す際の目安とな

り、正確且つ確実に角部固定用紙片を角部押さえ紙片側に折り返すことができる。

【0056】そして、請求項3に記載の矩形状紙葉の角部留具の如く、上記角部固定用紙片を直角二等辺三角形状に形成している一方、上記角部押さえ用紙片を該角部固定用紙片よりも小形の直角二等辺三角形状に形成しており、この角部押さえ用紙片の斜辺縁を上記角部固定用紙片の斜辺縁の中央部に折曲げ可能に連設している場合には、被貼着面に支持される矩形状紙葉の角部の直角に連なる辺縁と、角部固定用紙片側に折り返した角部押さえ紙片の直角に連なる辺縁とを合致させた状態で、角部押さえ紙片表面と被貼着面とによって矩形状紙葉の角部を挟持することができ、矩形状紙葉の角部を角部押さえ紙片表面と被貼着面との間で妄動することなく安定的に支持することができる。

【0057】しかも、請求項4に記載の矩形状紙葉の如く、直角二等辺三角形状に形成された上記角部押さえ用紙片の直角に連なる縁辺に裏面に粘着剤層が設けられているが表面に粘着剤層が設けられていないフランジ部を連設しており、このフランジ部を角部押さえ用紙片の表面に折り返すと共に角部押さえ用紙片を直角二等辺三角形状の上記角部固定用紙片の粘着剤層に重ね合わせて接着させた時に粘着剤層が設けられていない角部押さえ用紙片の表面と該表面に對向するフランジ部の表面との間に矩形状紙葉の角部挿入部が形成されるように構成している場合には、矩形状紙葉の角部の直角に連なる辺縁をフランジ部と角部押さえ紙片との連設部分の内面に当接受止させた状態で、矩形状紙葉の角部を角部押さえ紙片表面と被貼着面とによって挟持させることができ、安定した状態で矩形状紙葉の角部を挟持することができるとともに、矩形状紙葉の角部が不用意に角部固定用紙片裏面の粘着剤層による被貼着面との粘着部分に進入し、矩形状紙葉が粘着剤によって汚染されることはない。

【0058】又、請求項5に記載の矩形状紙葉の角部留具の如く、上記角部固定用紙片は横長長方形状に形成されている一方、上記角部押さえ用紙片は該角部固定用紙片と等幅の台形状に形成されており、この台形状の底辺に相当する該角部押さえ用紙片の長辺縁を上記角部固定用紙片の一方の長辺縁中央部に折曲げ可能に連設している場合には、矩形状紙葉の角部を角部押さえ紙片表面と被貼着面とによって必要最小限の挟持面積で挟持支持しているので、被貼着面上において必要最小限の貼着面積があればよく、被貼着面の面積が小さい場合には特に効果的に矩形状紙葉の角部を挟持支持することができる。

【0059】請求項6に記載の矩形状紙葉の角部留具の如く、矩形状紙葉の角部固定用紙片とこの角部固定用紙片の一辺に折曲げ可能に一体に連設され且つ角部固定用紙片よりも小形に形成された角部補強カバー用紙片とかなり、これらの角部固定用紙片と角部補強カバー用紙片との裏面全面に粘着剤層が設けられていて、角部カバ

ー用紙片を角部固定用紙片の裏面上に重ね合わせて接着させることにより矩形状紙葉の角部表面の補強カバー部に形成すると共に角部固定用紙片の両側部を表面側に折り返してその両側部の裏面を被貼着面に対する貼着用粘着剤層とし且つ折り返した両側部の表面と該表面に對向する角部固定用紙片の表面とにより矩形状紙葉の角部挿入袋部を形成するように構成している場合には、角部補強カバー用紙片を角部固定用紙片側に折り返し且つ角部固定用紙片の両側部を角部固定用紙片の表面側に折り返すとともに、折り返した両側部とこれに對向する角部固定用紙片表面とで形成された角部挿入袋部に矩形状紙葉の角部を挿入、支持させて、この角部固定用紙片の両側部の裏面に層設された粘着剤層によって被貼着面上に貼着させるといった簡単な作業で正確且つ確実に矩形状紙葉の角部を支持することができ、矩形状紙葉を被貼着面の所定位置に正確且つ確実に位置させることができる。

【0060】しかも、矩形状紙葉の角部は、粘着剤層の層設されていない角部固定用紙片の両側部表面とこれに對向する角部固定用紙片の表面とによって形成される矩形状紙葉の角部挿入袋部によって抱持されており、矩形状紙葉の角部が粘着剤によって汚染されるといったことがない。又、矩形状紙葉の角部は、角部挿入袋部内の角部固定用紙片の両側部の折り返し部の内面に受止されていることから、矩形状紙葉の角部は角部挿入袋部内において妄動することができなく、矩形状紙葉は安定的に支持される。

【0061】更に、現在被貼着面に支持されている矩形状紙葉を別の矩形状紙葉に入れ換える際にあっても、上記の如く、矩形状紙葉の角部は粘着剤によって粘着支持されているのではなく、粘着剤層の層設されていない角部固定用紙片の両側部表面とこれに對向する角部固定用紙片表面とによって形成された角部挿入袋部によって抱持されていることから、矩形状紙葉の角部を角部挿入袋部から簡単に取り外すことができ、しかる後、直ちに別の矩形状紙葉の角部を角部挿入袋部に挿入させて、被貼着面に新たな矩形状紙葉を位置させることができる。

【0062】請求項7に記載の矩形状紙葉の角部留具の如く、上記角部固定用紙片は横長長方形状に形成されている一方、角部補強カバー用紙片は該角部固定用紙片の長辺縁を斜辺とする直角二等辺三角形状に形成されていてその角部補強カバー用紙片を角部固定用紙片の一方の長辺縁に折り返し可能に連設させていると共に角部固定用紙片にその一方の長辺縁の両端から他方の長辺縁の中央部に向かって傾斜折り目線を設け、この傾斜折り目線から外側の三角形状の両側部裏面の粘着剤層を被貼着面に対する貼着用粘着剤層に形成していると共に三角形状の両側部表面とこの両側部が折り重なる角部固定用紙片の対向表面部とで上記矩形状紙葉の角部挿入袋部を形成するよう構成している場合には、角部挿入袋部内の直角に連なる上記両側部の折り返し線（傾斜折り目線）と

矩形状紙葉の角部の直角に連なる辺縁とを合致させた状態で、矩形状紙葉の角部を角部挿入袋部内に挿入、抱持させることができるので、矩形状紙葉の角部を角部挿入袋部内において妄動することなく安定した状態で支持することができる。

【0063】請求項8に記載の矩形状紙葉の如く、上記横長方形の角部固定用紙片の長さ方向の両端に延長部を設け、上記傾斜折り目線から折曲げた際に該延長部によって上記角部挿入袋部の開口端から突出する矩形状紙葉の角部ガイド面を形成するように構成している場合には、該延長部が矩形状紙葉の角部を角部挿入袋部に挿入する際の該矩形状紙葉の角部のガイド面を形成し、矩形状紙葉の角部を角部挿入袋部に挿入する際、矩形状紙葉の角部をガイド面上に摺接させながら角部挿入袋部に挿入することによって、矩形状紙葉の角部を角部挿入袋部に円滑且つ確実に挿入することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の矩形状紙葉の角部留具を離型紙上に仮接着した状態の一例を示した斜視図である。

【図2】本発明の矩形状紙葉の角部留具の一例を示した上方方向及び下方向から見た斜視図である。

【図3】図2に示した矩形状紙葉の角部留具の使用手順を示した図である。

【図4】矩形状紙葉の角部留具の角部押さえ紙片表面とこれに対向する被貼着面とによって矩形状紙葉の角部を挟持した状態を示した断面図である。

【図5】矩形状紙葉の角部留具の他の実施例の使用手順を示した図である。

【図6】矩形状紙葉の角部留具の他の実施例及びその使用態様を示した斜視図である。

【図7】矩形状紙葉の角部留具の他の実施例及びその使用態様を示した斜視図である。

【図8】矩形状紙葉の角部留具の他の実施例及びその使用態様を示した斜視図である。

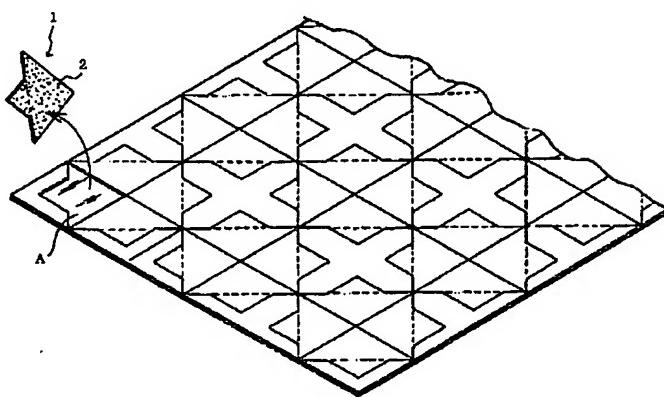
【図9】矩形状紙葉の角部留具の他の実施例及びその使用態様を示した斜視図である。

【図10】矩形状紙葉を、その角部をガイド面上に摺接させながら角部挿入袋部内へ挿入する途上状態を示した断面図である。

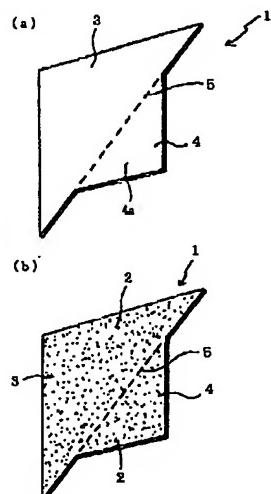
【符号の説明】

- 1 矩形状紙葉の角部留具
- 2 粘着剤層
- 3 角部固定用紙片
- 31 角部固定用紙片の両側部
- 4 角部押さえ紙片
- 4a 角部押さえ紙片の表面
- 5 折曲線
- 6 フランジ部
- 6a フランジ部の表面
- 7 角部補強カバー用紙片
- 7a 角部補強カバー用紙片の表面
- 8 傾斜折り目線
- 9 補強カバー部
- 10 矩形状紙葉の角部ガイド面
- A 離型紙
- B 矩形状紙葉
- C 被貼着面
- D 矩形状紙葉の角部挿入部
- E 角部挿入袋部

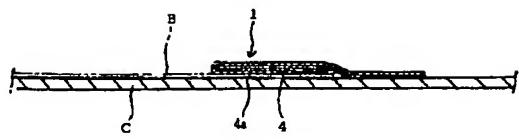
【図1】



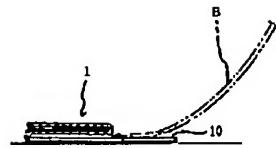
【図2】



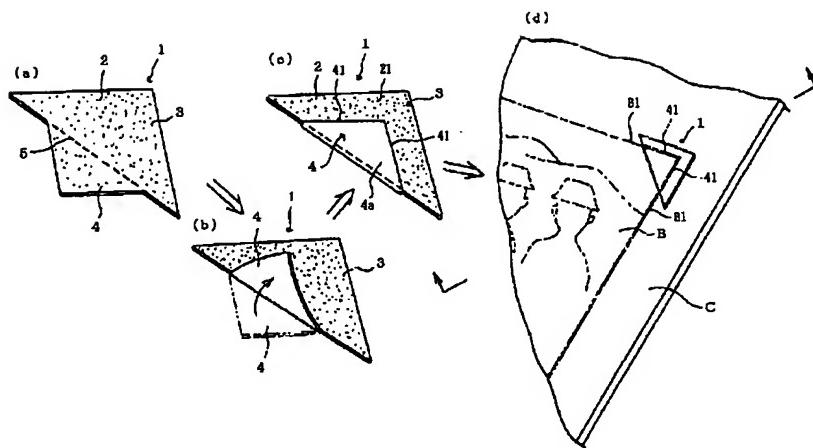
【図4】



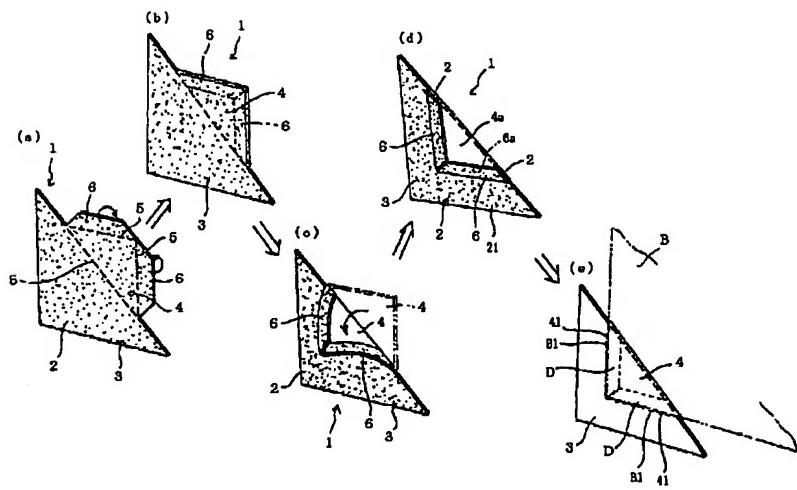
【図10】



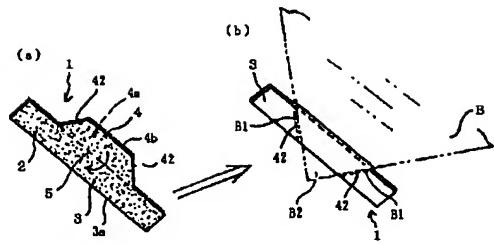
【図3】



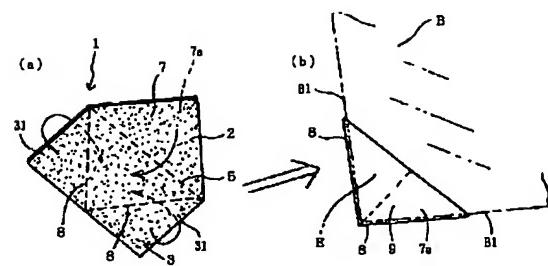
【図5】



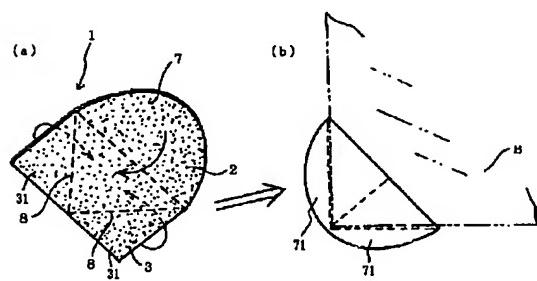
【図6】



【図7】



【図8】



【図9】

